

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者
住 所 東京都多摩市関戸6丁目12番地1
氏 名 多摩市長 阿部 裕行

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1（1）アの規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			落合第二学童クラブ													
2	学童クラブの所在地			郵便番号	206-0033		住所	東京都多摩市落合4丁目13番地									
3	設置・運営形態			公 設 民 営													
4	設置主体	名称		多摩市													
		住所		郵便番号	206-8666		住所	東京都多摩市関戸6丁目12番地1									
		代表者		阿部 裕行													
5	運営主体	名称		社会福祉法人こばと会													
		住所		郵便番号	206-0024		住所	東京都多摩市諏訪4丁目7番地									
		代表者		元井 由隆													
6	学童クラブ事業開始年月			昭和	56		年	10		月							
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	8		年	4		月							
8	支援単位ごとの状況 （※1）	落合第二学童クラブ	専用区画面積	児童館・集会所・和室	132.06		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)			3.30		m ²				
			児童数	40名													
			職員体制	放課後児童支援員（常勤）			3		名		放課後児童支援員（非常勤）			0		名	
				補助員（常勤）			0		名		補助員（非常勤）			6		名	
9	開所時間	平日	放課後から		19:00		まで										
		土曜日・長期休業期間	8:00		から		19:00		まで								
10	国庫補助の有無			有													
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有													
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有													
13	長期休業期間中の昼食提供			有	夏季休業期間	28	日間提供		提供方法	その他（保護者が直接注文する宅配サービスの提供）							
						28	(夏季休業期間の全日数)										
				有	冬季休業期間	5	日間提供		提供方法	その他（保護者が直接注文する宅配サービスの提供）							
						5	(冬季休業期間の全日数)										
				有	春季休業期間	4	日間提供		提供方法	その他（保護者が直接注文する宅配サービスの提供）							
						7	(春季休業期間の全日数)										
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有（別紙様式2のとおり）														
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有（別紙様式2のとおり）														
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有		令和	11		年度	受審予定							
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）																
17	利用料	月額	7,000		円												
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)															

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、2支援単位目以降を第1号様式乙に記載ください。

第 1 号様式乙

支援単位名	支 援 単 位 ご と の 状 況										
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)					m ²	
	児童数		名								
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)				名	放課後児童支援員 (非常勤)				名
		補助員 (常勤)				名	補助員 (非常勤)				名

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
帰りの会や行事などの集合時には必ず、子どもたちからの意見を募集し、その意見をもとに、子どもたち同士『対話』をしながら、活動内容やルールなどが決めていけるよう、サポートしている。 子どもたちから過ごし方についての意見や希望があがった際には、全体で話し合う場面を設けたり、お互いに交渉しあったりできるようにしている。 職員から話をする際には、必ず質問時間を設け、子どもたちが発言しやすい雰囲気づくりを心掛けている。 おやつの進行を担ったり、自分たちで考えた係活動を行ったりすることで、子どもたちが学童クラブでの生活に主体的に関わっていけるようにしている。	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎 日		施設の庭でドッジボール・バスケ・おにごっこ・縄跳び・バドミントンなどを行っている。 庭にツリーハウスがあり、梯子を登る・ターザンロープにぶら下がり揺れる・下り棒を滑り降りるなど、全身を使った遊びができる。 室内に卓球台を常設、また別室にはボルダリングがあり、雨天時でも身体を動かした遊びができる。 子どもから希望があれば、近隣の公園へ連れて行き、施設内ではできない遊びもできる。
「製作活動等」	毎 日		レゴ・ラキュー・カプラ・積み木のコーナーを設置しており、日常的に取り組むことができる。 工作材料や紙類、工作用具などは、いつでも使えるようにしてある。 年に4回程度、講師を呼んで『造形教室』を実施している。 年2回の劇団公演に向けて、衣装や人形、ペープサートや大小道具などを制作している。 季節を感じる行事として、梅雨に遊ぶおもちゃ作りや、秋のどんぶり工作などを行っている。
「地域の文化等に触れる体験」	50	回以上	ボランティア講師による囲碁将棋教室を週1回実施している。 ボランティアの方から週1回のアドバイスを受けて、畑や花壇での野菜・花を継続的に栽培している。 市内中学校の職場体験の受け入れをしている。 夏休み中、中学生以上～大人までのボランティア募集をし、ダンス指導やレクリエーション指導、学習支援や見守りなどを実施している。 学校の振替休日には、近隣の文化施設に見学に出かけている。 年1回、地域の夏祭りに出店している。
「自主学習」	毎 日		登所後に宿題時間を設け、すべて終わらせてから遊ぶ習慣作りを行っている。 学校休業日は、25分×4回の学習・読書時間を設け、規則正しい生活を送れるようにしている。 日常的に、家庭の課題や塾の宿題など、自由に取り組める静かな環境を作る
「児童の意見を反映させた行事」	10	回以上	学校の振替休日、に、どう過ごしたいか意見を募集し、近隣公園や文化施設の見学等を実施している。 昼食やおやつ希望をとり、子どもたちと一緒に調理する行事を企画・実施している。 遊具や図書希望を取って、購入している。 子どもたちの意見を反映させて、公園や他施設に行く等、日常の遊び場を決めている。 年2回の劇団活動は、子どもたちの意見から演目や内容を決め、公演までつなげている。 『お店屋さん』の行事は、内容に加えて、やり方や招待したい相手も子どもたちから意見を聞き、学校や他施設などと交流しながら実施している。 『卓球大会』『ドッジボール大会』『サッカー講座』『全員でおにごっこ大会』など、子どもたちからあがった意見を、みんなで対話しながら決め、実施につなげている。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----